

白ねぎを地域の特産に～JA尾道市が部会設立～

【平成 29 年 2 月 14 日掲載】

JA尾道市は白ねぎの地域特産化を目指して「白ねぎ部会」（部会長（農）ほりこし代表理事上羽場幸男（うへはばゆきお）、部会員 14 名）を設立し、総会を 1 月 24 日に開催しました。

世羅町では、平成 26 年度から白ねぎ栽培が始まり、平成 28 年度には栽培面積が約 4.2ha、生産者が 14 経営体となり、面積は栽培当初の約 2.5 倍に拡大しています。県内では白ねぎの生産が拡大しており、世羅町でも露地栽培が可能で冬場の収入源となる品目として力を入れていくこととなり、部会の設立となりました。

これまでは、生産者によって品質にばらつきが大きいことが問題であったため、部会で栽培講習会を行うことで技術の平準化を図るとともに、出荷目合わせ会などにより、品質や収量の向上を目指していくこととなりました。

副部会長に就任した、農事組合法人黒羽田の綿谷岩美（わたやいわみ）代表理事は、「研修会などを通じて品質の統一、向上を図るとともに、収量アップにつなげたい。」と意気込みを話されていました。

当日は、JA全農ひろしまから、「白ねぎに関する市場動向について」、また尾道農林事業所から「広島県における白ねぎの推進について」情勢報告が行われた後、(株)恵（代表取締役 宮迫恒也（みやさここうや））の白ねぎほ場（1.3ha）で掘取機による収穫作業を見学しました。



【設立総会】



【現地見学の様子】

情報提供元

東部農業技術指導所